

2022 年 4 月吉日

お取引先各位

株式会社サカタ製作所  
営業部 建材営業課溶融亜鉛めっきの JIS 改正における弊社対応方針について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
表題の件について、下記の通りご案内致します。

敬具

## 【記】

■弊社対応方針：当面の間、次の理由で新旧表記の両方が混在します。

1. 製品図面	随時、新 JIS 表記へ改定していきます。
2. 納品書、ダンボールラベル	5 月から新 JIS 表記となります。(※1)
3. 品質証明書	9 月から新 JIS 表記のみとなります。
4. めっき証明書 (※2)	JIS マーク表示制度の認証を取得しているめっき業者においては、審査機関による審査後に新 JIS へ移行する業者もあるため、移行までの間は旧 JIS 表記となる場合があります。

※1 5 月以降の出荷でも、製造時期が 4 月以前のものは、ダンボールラベル表記は旧 JIS となります。よって、その際は納品書とダンボールラベルのめっき表記が異なりますのでご了承ください。

※2 めっき証明書がご入用の場合はご注文時にご指示ください。ご注文後にご指示頂いた場合、発行できない場合があります。

## ■背景

2021 年 12 月 20 日に溶融亜鉛めっきの JIS H 8641 が改定され、めっき記号の表記方法が変更されました。

これは、**国際規格 (ISO1461:2009) や市場の実態に整合させるために、(旧)めっき付着量 → (新)めっき膜厚 へめっき被膜の規定方法が変更されたもので、検査の基準となるめっき膜厚は変わりありません。**

当社も新 JIS に従い表記方法を随時変更していきます。なお、当社製品のほとんどは下表の太枠に該当します。

新 JIS		旧 JIS			(斜体:新規格で追記 取消線:新規格で削除)
種類の記号	膜厚(μm)	記号	平均膜厚μm(参考)	付着量(g/m <sup>2</sup> )	適用例(参考)
HDZT 35	35 以上	HDZ A	28~42	250 以上	厚さ 5 mm 以下の素材、直径 12 mm 以上のボルト・ナット、厚さ 2.3 mm を超える座金などで、遠心分離によって亜鉛のたれ切りをするもの又は機能上薄い膜厚が要求されるもの
HDZT 42	42 以上	HDZ B	35~49	300 以上	厚さ 5 mm を超える素材で、遠心分離によって亜鉛のたれ切りをするもの又は機能上薄い膜厚が要求されるもの
<b>HDZT 49</b>	<b>49 以上</b>	HDZ 35	<b>49 以上</b>	350 以上	厚さ 1 mm 以上の素材、直径 12 mm 以上のボルト・ナット及び厚さ 2.3 mm を超える座金
<b>HDZT 56</b>	<b>56 以上</b>	HDZ 40	<b>56 以上</b>	400 以上	厚さ 2 mm 以上の素材
<b>HDZT 63</b>	<b>63 以上</b>	HDZ 45	<b>63 以上</b>	450 以上	厚さ 3 mm 以上の素材
HDZT 70	70 以上	HDZ 50	69 以上	500 以上	厚さ 5 mm 以上の素材
HDZT 77	77 以上	HDZ 55	76 以上	550 以上	厚さ 6 mm 以上の素材 過酷な腐食環境下で使用される鋼材・鋼製品及び び鍛造品類。

ご参考：溶融亜鉛めっきに関する JIS 規格の改正について (一般社団法人 日本溶融亜鉛鍍金協会 HP)  
<https://aen-mekki.or.jp/tabid/94/Default.aspx?itemid=624&dispmid=419>

以上